

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館  
11 枚中 1 枚目

実施年月日	第 31 期 第 4 回 運営審議会			令和 3 年 3 月 19 日実施	
会 場	中央公民館 301・302 講座室		傍聴人	0 人	
出席者	委員		井上経久、江口滋、笠原直美、後藤ルリ子、塩田美幸、田代正孝、藤瀬竜子、祝健一郎、山田久美子、渡辺和美		
	事務局	中央公民館	浅間直美、竹田由里子、土沼裕子、伊藤 聡		
		鳥屋野地区公民館	小栗 敦		
		東地区公民館	片桐康正		
		関屋地区公民館	樋山光仁		
議題等	<p>議題・報告</p> <p>(1) 令和 2 年度公民館事業実施報告について（内容説明省略）</p> <p>(2) 令和 3 年度公民館の主な予算について</p> <p>(3) 令和 3 年度新潟市公民館事業の基本方針について</p> <p>(4) 令和 3 年度公民館事業計画について</p> <p>(5) 2 年間のふりかえりについて</p> <p>(6) その他</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環で、会議の短時間化に取り組んだため、議題(1)については、会議当日の資料内容説明は省略し、委員からの質問・意見等の聴取から開始した。</p>				
審議された議題及び報告について以下に記載する。					
浅間中央公民館長あいさつ					
(1) 令和 2 年度公民館事業実施報告について（資料 1）（内容説明省略）					
藤瀬議長	<p>事前の案内で、詳細説明は省略し質疑から始める旨伺っています。まず「基本施策 1」について質疑を始めますが、まず、私から質問します。</p> <p>この基本施策に該当する事業では、新型コロナウイルス感染症で中止になった事業があるが、その代替事業を実施しなかった理由はありますか。</p>				
中央 浅間館長	<p>事業実施における連携先である地域団体等との協議の結果、コロナ禍での事業実施を慎重に考え、中止になったものが多くありました。</p> <p>当初は、コロナへの理解も薄かったことから事業を中止することが多かったが、夏以降はコロナ禍でも事業を実施するなど、コロナ対策の面でも経験を積んできた経緯もあるので、次年度事業の実施の可否については、連携先と協議しながら進めていく予定です。</p>				
藤瀬議長	<p>続いて「基本施策 2」の質疑にうつります。</p>				

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館  
11 枚中 2 枚目

江口委員	<p>Z o o mを使ったオンライン講座実施について苦勞した点は何か、参加された方の声も併せて聞かせていただきたい。</p>
中央 伊藤事業担当	<p>本来、皆さんから公民館に集まっただき、交流を図ることを通じての「まちづくり・人づくり」を目指していますが、通常の方法では事業実施が困難な状況の中、大きく 2 つの形式に分けて事業を実施しました。</p> <p>ひとつは「従来の対面式の事業規模を縮小し密を回避する」、もうひとつは「オンライン形式で会場に集まることなく事業を実施する」方法です。</p> <p>オンライン講座については、Z o o mを活用していくこととし、公民館と生涯学習センターでZ o o m支援チーム立ち上げました。市内の各公民館がオンライン講座を実施する場合は、環境の整備から操作方法まで支援チームが中心となって支援してきました。</p> <p>オンライン形式での講座実施については、遠隔地から参加できる点や、大人数の参加を受入れられるなどの大きなメリットもある反面、コミュニケーションの面では苦戦する面もありますが、デメリットについては工夫を重ねクリアしていくべきと考えています。</p> <p>現時点でオンライン講座については、我々職員側だけでなく、市民から見ても参加へのハードルが高いようです。ただし、実際に参加された方は、気軽に参加していますし、感想を聞くと「楽しかった」との声が聞こえてきます。難しいと思ったオンライン上での交流も、課題はあるものの割とスムーズにできたようです。</p> <p>今後、公民館が考えていかなければいけないことは、いかに参加へのハードルを低くしていくかというところだと思っています。</p>
渡辺委員	<p>乳児期のオンライン講座について、具体的な内容を教えてください。</p>
鳥屋野地区 小栗館長	<p>乳児期家庭教育学級をオンラインで実施しました。オンライン環境が鳥屋野地区公民館では不安定だったので、実際には中央公民館で行い講師は自宅から参加しました。ちなみに講師とは、鳥屋野地区公民館でZ o o mでの打ち合わせが可能でした。</p> <p>乳児期家庭教育学級の参加者は 7 名でした。「出かけるストレスがなく、子どもが多少騒がしくても参加できてよかった」という声がある一方で、「意見交換の面では、やはり本当に対面をしたほうが情報交換はしやすい」との意見がありました。参加者の多くは区だよりを見て申し込んでいるようです。</p>
藤瀬議長	<p>続いて「基本施策 3」の質疑にうつります。</p>

<p>東地区 片桐館長</p>	<p>(・・・質問なし) 質問がないようですので、「基本施策 4」の質疑にうつります。</p> <p>私から質問します。東地区公民館の「団塊世代対象事業サイエンスカフェ」の内容はどのようなものでしたか。</p> <p>元新潟県立大学講師の本間先生を講師に、例年ほんぼーとで 1 月に 2 回、2 月に 2 回の計 4 回行っていますが、今年度はコロナ禍での開催であったため、東地区公民館を会場としました。</p> <p>1 回目が「気候」、2 回目が「宇宙」、3 回目が「VR や仮想世界」、4 回目が「新型コロナウイルス感染症」をテーマに行い、後半 2 回は Z o o m を使ったのオンライン講座として行いました。</p> <p>不慣れなこともあり、Z o o m 聴講ができなくなるというトラブルも経験しました。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>続いて「基本施策 5」の質疑にうつります。</p> <p>(・・・質問なし) 質問がないようですので、「基本施策 6」の質疑にうつります。</p> <p>これまで説明のあった基本施策の中で、質問し忘れたことがあれば、併せて質問願います。</p>
<p>井上委員</p>	<p>オンライン講座など、初めての試みも含め苦勞があったと思うが、参加された方はよろこんでいたと思います。個人的には、オンライン形式は家庭教育分野に適正があるのではないかと思います。</p> <p>オンライン形式については、これまでの経験から、向き不向きがあると感じていると思うが、何か傾向がありまのようなものがあれば、聞かせてください。</p> <p>また、文化祭についてオンラインを活用した実施方法なども考えられるのではないかと思います。</p>
<p>東地区 片桐館長</p>	<p>私たちの視点から見ると、オンライン形式は高齢者事業に不向きということになりますが、講座内容に興味を強く持った方は、高齢者でも参加してくれます。これを機会に Z o o m をやりたいという人が、多くみられました。</p> <p>子ども対象事業では公民館として、オンライン形式での講座よりも、実際に様々なことを体験してもらうことを優先しました。</p>
<p>中央</p>	<p>家庭教育事業では、プレママ学校というオンライン講座で、沐浴の指導を行い</p>



中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館  
11 枚中 5 枚目

<p>中央 土沼管理担当</p> <p>藤瀬議長</p>	<p>業の予算になっています。また、その 3 分の 1 である国の補助金 53 万 6,000 円が、その中に計上されています。</p> <p>続いて「公民館事業費」は、公民館を拠点として、地域の皆さんの趣味や生きがいを支援する事業を行うものですが、令和 3 年度予算は 82 万 5,000 円と、前年度比で 14 万 5,000 円増となっています。</p> <p>最後に「子ども体験活動・ボランティア活動推進事業」は、自然体験やものづくり体験、工作体験を通じ、異学校異学年および地域の大人たちとの交流を図ることで、子どもたちの社会性や協調性の向上を促し、やさしくたくましい心を育むものです。令和 3 年度予算は 17 万 4,000 円で、前年度比で 9 万 7,000 円減となっています。</p> <p>続きまして「施設の管理運営費」について説明します。</p> <p>令和 3 年度予算は 2,246 万 5,000 円で、前年度比 115 万 8,000 円の減となります。本日の会場であるクロスパルにいがたは別組織ですが、中央区内の公民館関連施設については、生涯学習センターが施設管理を担っています。</p> <p>また、鳥屋野と東の公民館については、中央区が管理する出張所との複合施設ですので、維持管理費は出張所が負担しています。なお、関屋公民館は単独施設ですので公民館が施設管理をしています。</p> <p>全体的に建物の老朽化等が進み、突発的な修繕を要することが増えてきました。修繕に備える予備費を捻出することが困難な状況ですが、利用者の安全にかかわる部分ですので、限られた予算の効果的執行に努めていきます。</p> <p>令和 3 年度予算について質問はありますか。 (・・・質問なし)</p>
<p>(3) 令和 3 年度新潟市公民館事業の基本方針について (資料 3)</p>	
<p>藤瀬議長</p> <p>中央 浅間館長</p> <p>藤瀬議長</p>	<p>議題・報告の「(3) 令和 3 年度新潟市公民館事業の基本方針について」事務局は説明をお願いします。</p> <p>基本方針は、令和 2 年 3 月に新潟市の教育ビジョン第 4 期実施計画が策定された際に見直してから 2 年目ということもあり、1 の「はじめに」の文末のみを変更するに止まりました。2 の「基本方針」、それから 3 の「基本施策」、4 の「事業実施と評価」については、変更ありません。</p> <p>令和 3 年度新潟市公民館事業の基本方針について質問はありますか。 (・・・質問なし)</p>

(4) 令和 3 年度公民館事業計画について (資料 4)	
藤瀬議長	<p>議題・報告の「(4) 令和 3 年度公民館事業計画について」事務局は説明をお願いします。</p>
中央 浅間館長	<p>基本施策ごとに 2 事業を選んで実施館から事業の説明をいたします。 それでは基本施策 1 から始めます。</p>
鳥屋野地区 小栗館長	<p>1 ページ目の 8 番「新潟の食の魅力再発見」を説明します。 当初、中央区の転勤・転入者に向けた講座として実施をしていましたが、令和 2 年度は、対象者を限定せず募集をしました。 転勤の方のほか、市内在住の方、若い世代の親子も参加するなど、各世代のニーズに当たっていたことから、令和 3 年度も対象者を限定せず実施しようと考えています。 夏編と秋編の 2 講座の実施を予定しており、夏編は黒埼地域での「枝豆の収穫」と「笹団子作り」、秋編は西区赤塚地域での「いもジェンヌ収穫」と「笹団子作り」を行います。笹団子作りでは、参加家族間の交流や市の観光情報の提供をする予定です。</p>
東地区 片桐館長	<p>13 番の「地域活性化支援事業」を説明します。 内容は、高校生ガイドの案内で、浴衣姿の外国人が沼垂をまち歩きするというもので、昨年に引き続き開催する予定です。今年で 2 回目を迎える当事業は、万代高校、沼垂小学校区コミュニティ協議会、地域のボランティアのご協力の下、沼垂地域の活性化を図ることを目的としています。 万代高校の英語部員がガイド役となるほか、美術部では募集チラシと沼垂マップの作成に協力いただいています。英語部員にとっては英語力を高める貴重な体験の機会であり、美術部員にとっては自作チラシが成果品として様々な人たちに見てもらえるとのことで、やりがいを感じてもらっています。 また、地域の沼垂小学校区コミュニティ協議会と NPO 法人なじらね沼垂は、参加者と生徒によるまち歩きの際の安全確保等に協力いただきます。</p>
藤瀬議長	<p>基本施策 1 の事業説明について、質問はありますか。</p>
田代委員	<p>来年度は、クロスパルの改修や空調設備工事等により、施設の利用ができない期間が生じると聞いています。全館を使い開催する文化祭の開催は難しいと考えますが、現時点でどのように考えていますか。</p>

<p>中央 伊藤事業担当</p>	<p>文化祭については、今年度で連携先となる公民館連絡協議会の役員が改選されますので、新年度に入りました新役員の方々と開催の可否も含めて相談する予定です。</p> <p>今年度の文化祭の開催可否については、新型コロナウイルス感染症の理解が進んでいない時期に決定しなければならなかったため、公民館と協議会が検討の結果、中止の判断となりました。</p> <p>1年後の現在、引き続きコロナ禍ではありますが、1年前と比較するとコロナウイルスや、感染防止策等への理解も深まっていますので、それぞれの受け止め方も変わってきている部分があると思います。</p> <p>開催するにしても、工事関係の日程等がはっきりしていない現段階では、明確なことは言えませんが、使える部屋で小規模での開催、日程を分散しての開催など、様々な選択肢があると思いますので、協議会と慎重に検討する予定です。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>続いて基本施策 2 について事務局は説明をお願いします。</p>
<p>中央 伊藤事業担当</p>	<p>基本施策 2 の 8 番「オンライン公民館」を説明します。内容は、今年度行った講座に「オンライン家庭教育学級」がありますが、その経験を踏まえての発展版として、オンライン形式による家庭教育学級を行います。</p> <p>今年度は 6 人程度の参加がありましたが、その方々を企画委員に迎える予定です、内容についてはこれからの検討となります。</p> <p>外出が困難な真冬や真夏の時期に、オンライン形式で実施することで外出の煩わしさを感じることなく受講できる状況を作り出す予定です。</p> <p>また、課題としているオンライン上での交流についても、我々職員側の Z o o m に対するスキルアップが必要ではありますが、経験を重ねることも大切であると考え、様々な工夫を試みていく方向で考えています。</p>
<p>鳥屋野地区 小栗館長</p>	<p>続いて 12 番「乳児期家庭教育学級」です。今年度の経験を踏まえ、オンライン形式での講座に対し一定のニーズがあることを確認できたので、例年「ゆりかご学級」として行ってきた乳児期家庭教育学級を、Zoom を活用したオンライン講座として内容も変更して行います。</p> <p>全 4 回の講座の内、1 回目と 4 回目は母子一緒に公民館に来ていただく対面式、2 回目と 3 回目をオンライン形式で行う予定で、月齢は問わず 0 歳児の親子を対象とします。また、オンライン形式で行う回は、通常の受講者に加え、スポット参加する受講者を別途募集することを検討しています。</p> <p>コロナ禍での試験的な意味合いもありますが、新たな試みとして取り組んで</p>

	<p>いきます。</p>
藤瀬議長	<p>基本施策 2 の事業説明について、質問はありますか。</p>
渡辺委員	<p>コロナ禍での事業実施について、受講者の方々より、「公民館職員に感謝している」との声をいただいています。家庭教育学級受講者からは、「受講者との交流で、子育てへの不安が軽減された」との話も聞きました。</p>
	<p>鳥屋野地区公民館のオンラインと対面を組み合わせた講座形式については、とても新しい試みだと思います。また、特定の回にスポット参加できるという案は、これからの時代に合っているとも思います。地道に実施を続けていくことで、オンラインへの抵抗感等も薄れ、参加者が増えてくることも考えられますので、継続していただきたいと思います。</p>
藤瀬議長	<p>続いて基本施策 3 について事務局は説明をお願いします。</p>
東地区	<p>基本施策 3 の 10 番「キッズ・サイエンス」です。</p>
片桐館長	<p>子どもの理科に対する興味や関心の低下が叫ばれている中、科学の魅力を学校の勉強とは違う方法で体験してもらい、創造力を育て、科学への興味・関心を持つ心を育む機会としています。また、参加者同士の交流や、子どもたちと事業に協力いただいている公民館活動協力員、公民館職員らの交流の場としても捉えています。</p>
	<p>対象は、東地区公民館内 6 小学校の児童です。春休み、冬休み、夏休みの長期の休みに合わせて 3 回実施し、それぞれ募集定員は 20 人です。公民館活動協力員の皆さんとの連携事業でもあり、企画段階から活動協力員の皆さんには協力をいただいています。</p>
関屋地区	<p>続きまして 23 番「あそぼうさい避難所体験」です。</p>
樋山館長	<p>関屋公民館は、災害時の指定避難所であり、津波の注意報・警報が出た場合、地域住民を受け入れる施設となっています。そこで、地域の小学生を対象に、災害に関する知識や、公民館が避難所であることを学んでもらえる機会を提供する必要があると考えました。</p>
	<p>大学生の協力を得ながら、遊びの要素も絡め、楽しみながら防災について考える内容を検討しています。</p>
	<p>従来は 1 泊 2 日で行っていましたが、コロナ禍での実施となることを見据え、内容についても検討が必要となります。活動が制限される部分もあるかと思いますが、地域に役立つ内容にしていきたいと思っています。</p>

藤瀬議長	基本施策 3 の事業説明について、質問はありますか。
笠原委員	<p>4 月から小中学校の生徒にタブレットが配付され、デジタル学習環境が整ってきている状況の中で、子ども・青少年向けのオンライン講座も企画されたほうが良いと思います。</p> <p>10 代や小さな子どもは、知識がないにもかかわらず感覚的にタブレットをスムーズに使っています。大人のほうが壁を越えていく必要があると感じます。講座を実施するにあたり、猛暑や豪雪など、天候に左右されないオンライン講座を、青少年向けに発信していくことは有意義であると感じています。</p>
中央 浅間館長	G I G A スクールの行く末や、子どもたちが生きていく将来の世界がどうなっているかは、我々大人たちには本当に想像が付きませんが、これからの公民館は「集う」ことにとらわれず、オンラインを活かした事業を検討することが必要となっていると思われます。
江口委員	<p>「キッズ・サイエンス」、「あそぼうさい」は、とてもいい企画です。地域の特性を知ることが地域愛につながっていくと思います。</p> <p>また、タブレットについてですが、学校では児童・生徒にタブレットが 1 人 1 台行き渡り、4 月から家庭に持ち帰っている学校もでてきました。</p> <p>子どもたちはそれこそ、感覚でタブレットを使っていくので、学校としてはルールを作り、タブレット活用の「促進」と「抑止」の両面指導を進めなくてはなりません。</p> <p>当然、ご家庭のお母さん、お父さんも、我が子の SNS 活用について、様々なことを考える機会が増えてくると思われますが、公民館にも子どものタブレット学習支援の一端をになってもらう意味で、公民館講座で「SNS 等に関する親の学びの場」を提供することは有意義だと思います。</p>
山田委員	中央公民館の「学生連携事業」について、内容説明をお願いします。
中央 伊藤事業担当	<p>現在は、青陵大学の学生との連携事業を検討しております。内容については、これから学生と相談しながら考えていきますが、今年度もすでに連携は始めており、玄関脇ロビーに掲示しているクロスパル PR ポスターの制作を行いました。</p> <p>また、これから、子どもの体験事業を予定していますが、その講座にも青陵大学の学生がスタッフとして企画から参加しています。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館  
11 枚中 10 枚目

藤瀬議長	<p>学生との連携がいきなり大きな成果を生み出すわけではありませんが、少しずつ大学と公民館のつながりを強くしていき、学生のアイデアや行動力が、地域の多世代交流を通じた地域づくりへとつながるよう、長い目で取り組んでいくつもりです。</p> <p>続いて基本施策 4 について事務局は説明をお願いします。</p>
中央 伊藤事業担当	<p>基本施策 4 の 1 番「高齢者課題解決事業」について説明します。超高齢化社会における課題をテーマにメニューを考えていますが、令和 2 年度にコミュニティコーディネータ育成講座として行った「スマホ教室」の発展版実施を検討しています。</p> <p>ただし、高齢者のスマホ操作習得は大変困難であることが、経験としてすでにわかっていますので、内容についてはかなり検討が必要と感じています。</p>
関屋地区 樋山館長	<p>続きまして 7 番の「健康お楽しみ広場」です。中央区の健康福祉センターの協力も得て、血圧や血管年齢測定と落語の口演を合わせて開催し、を楽しみながら健康についての意識啓発を進める講座です。</p> <p>落語については公民館活動サークルのお願いし、できるだけお金を使わないように工夫しています。</p>
田代委員	<p>私も含めて、高齢者はスマホに換えたはいいが、操作が分からなくて七転八倒しています。高齢者には高齢者の悩みがあるということで、公民館にはこの種の事業を積極的に実施してほしいです。</p> <p>また、コロナに関連して、最近では公民館利用団体数の減少が目立っていると感じます。かつて 300 を超えた時期もあったと思いますが、今年の登録団体数は 220 団体になってしまったことも気になります。</p>
祝委員	<p>団体数の減少は、どの公民館も悩みの種だと思います。公民館と同様にコミセン等でも利用団体を抱えていますが、その辺は、一体として考えていく必要があるのではないかと考えます。</p> <p>ただし、減少を悲観するだけでなく、高齢化により団体数減少は自然なことと割り切り、楽観視することも必要ではないでしょうか。</p> <p>スマホの話もありましたが、高齢者を相手の教室は効率良く成果を得ることは難しいとは思いますが、教える機会を多く持つというのは、意味あることだと思います。</p>

<p>藤瀬議長</p>	<p>続いて基本施策 5 について事務局は説明をお願いします。</p>
<p>中央 伊藤事業担当</p>	<p>基本施策 5 の 3 番、「公民館よのなか科」について説明します。地域の魅力や課題のほか、世の中のトレンドとなっている話題などを幅広く取り上げた学習を通じて、受講者同士の交流を図る事業です。楽しくわいわい、いろいろなことを学ぶ機会としていきたいと考えています。</p> <p>なるべく興味を引くような話題を取り入れながらも、地域課題のような地域に関する話題等も内容にはさめていきたいと考えています。</p>
<p>鳥屋野地区 小栗館長</p>	<p>7 番の「世代ごとに考える生活設計（マネープラン）」です。これは、令和 2 年度にも実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係で実施されませんでしたので、新年度に実施をすることにしました。</p> <p>内容は、年金問題や少子化、雇用問題など、新型コロナウイルス感染症発生によって置き去りにされた諸問題について考えるものです。</p> <p>5・6 月で 3 回実施としておりますが、平日は夜間、土曜日は午前中に実施予定です。</p> <p>「社会人スタート期」「子ども成長期」「退職前後」の 3 つのライフステージに役立つマネープランについて新潟県金融広報委員会の金融広報アドバイザーを講師としています。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>続いて基本施策 6 について事務局は説明をお願いします。</p>
<p>東地区 片桐館長</p>	<p>基本施策 6 の 5 番「グループ活性化事業 公民館まつり」について説明します。</p> <p>公民館まつりは、地域の方向けに東地区公民館を利用する定期利用団体のお試し体験教室です。会員数を増やしていきたいと思う団体から手を挙げていただき、春の新鮮な気分で、何かにチャレンジしたいと思わせる、毎年この 3 月に開催しています。</p> <p>今年は、定期利用団体の約 4 分の 1 にあたる運動系、文化系合わせて 23 団体からご協力いただき開催します。活動時期は、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年は残念ながら料理系のサークルが、体験教室がないですが、来年は参加していただきたいと思っています。</p> <p>体験教室を実施するサークルの構成メンバー、年齢はさまざまですが、サークルの存続のために参加者のマンネリ化の打開、活性化を図る目的で公民館まつりにご協力いただいています。</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館  
11 枚中 12 枚目

<p>関屋地区 樋山館長</p> <p>藤瀬議長</p>	<p>続きまして、12 番「ランナーズコミュニティ」です。</p> <p>関屋公民館の利用者は高齢化が進んでいますので、若い人たちや、今まで公民館に縁のなかった人たちに公民館事業を PR しようと企画した講座です。</p> <p>ランナーといえば、本来、スポーツ施設で活動していると思いますが、敢えて公民館を出発地点、ゴール地点とすることで、更衣室や休憩場所として公民館を利用してもらえるよう仕向けてみました。</p> <p>令和 2 年度に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったので、新年度に改めて挑戦することとしました。</p> <p>質問が出ないようなので、事業計画についての説明は終了します。</p>
<p>(5) 2 年間のふりかえりについて</p>	
<p>藤瀬議長</p> <p>江口委員</p> <p>渡辺委員</p> <p>後藤委員</p>	<p>今年度で、公民館運営審議会委員の任期が終了するというので、2 年間で振り返り、感想や意見などをお聞かせください。</p> <p>初めて出席しましたが、それぞれの委員からのあたたかな励ましや、今後の方向を示唆するようなお話を聞くことができ、職場に持ち帰って活かすことができそうな気持ちになります。</p> <p>今年は、コロナもあり、さまざまな制約があった中で公民館は苦勞、難儀したことと思います。その中で、ICT やオンラインといった方面でも、公民館の力が発揮できる分野がでてくるのではないかなと思いました。ありがとうございました。</p> <p>公民館利用者として、この委員に参加しました。</p> <p>普段利用されている利用者側の意見を委員会に伝えることができましたし、委員として利用の皆さんに公民館の状況を説明できることもできるなど、ある意味、公民館と利用者の「架け橋」として活動することができました。ありがとうございました。</p> <p>この 2 年間の半分が新型コロナウイルス感染症ということを経験する中で、社会教育の意味がますます問われています。</p> <p>その中で 2 年間、公民館の事業計画・実績を説明していただき、本当に魅力</p>

<p>井上委員</p>	<p>溢れる事業を展開していることに感謝しています。</p> <p>昨年、東区の公民館で「女性防災セミナー」を開催した際、企画段階から絡ませていただき、講座終了後の活動継続・発展がいかにか大変なのかを学びました。</p> <p>その地域が求めるものと公民館が発信していきたいものの価値観を一致させることが難しいことを改めて学びました。</p> <p>2年間学んだことを、自分自身の地域に生かしていけたらと思っております。ありがとうございました。</p> <p>公民館や地域の課題などが、なんとなく分かってきたところです。</p> <p>いかに公民館が、地域の皆さんや、いろいろな世代に向けて、発信、努力をしているかが理解できました。</p> <p>課題はたくさんあり、解決困難なものもまだまだ残されているようです。</p> <p>これから一市民としても、その課題解決に向け、協力していきたいと思えますし、私が住んでいる地域でも反映できるよう、気をつけていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>山田委員</p>	<p>この2年間、本当に新型コロナウイルス感染症の対応で大変だったと思います。他館の公民館運営審議会ですが出た話を聞いたのですが、「中止事業があまりにも多いではないか」「オンライン事業への対応が遅いのではないか」「こういう事態を想定しておくべきであったのではないか」という厳しい意見があったということでした。</p> <p>公民館の職員として仕事もしておりましたので、さぞかし大変だろうなという思いを、非常に強く持った2年間だったかなとは思っています。本当に皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>私も委員の一人として事業計画などを伺いましたが、公民館が「市民の方にとって何が必要か」「自分たちの果たすべき役割は何か」を、常に考え、意識しながら事業作りに進んでいる印象を持ちました。</p> <p>委員就任前に持っていた、公民館に対する「堅い」イメージや、公民館事業に対する「市民ニーズとの乖離」といったイメージが、この2年間で覆りました。常に変化をいとわず邁進していただけるよう、今後ともよろしく願います。</p>
<p>塩田委員</p>	<p>赤ちゃんから高齢者の方まで、幅広い年代に寄り添っている公民館に感心しています。</p> <p>私もサークル活動で公民館を利用していますが、私も何かお役に立てること</p>

<p>田代委員</p> <p>祝委員</p> <p>笠原委員</p>	<p>があれば、また頑張っていきたいなと思っています。</p> <p>子ども対象の事業に関してですが、子どもたちには、やはり実際に触れたり、体を動かしたりすることがとても大切なことだと思っています。</p> <p>子どもたちは、すでに iPad を生き生きと使っていますし、学校でも Zoom でほかの学校との対面の交流活動などを当たり前に行っていますので、やはり、実際に体験活動をさせてあげたいと思いました。</p> <p>社会教育を推進する立場で、幅広い対象・分野を取り扱う公民館の仕事を、改めて知りました。委員としての 2 年間で、やっと分かってきたと思います。</p> <p>毎年予算が削られていく中で、知恵を絞っている公民館に感謝を申し上げますし、私自身、20 年間クロスパル、中央公民館にお世話になってきて、本当に人生の中の非常に大きな糧になっています。</p> <p>各公民館で様々な事業を企画し、大勢の市民を楽しませ、啓蒙するような活動をしていただき、ありがたいと思っています。</p> <p>コロナで大変とは思いますが、やはり「集う機会」を作り出すことに公民館は頑張してほしい。</p> <p>優れた企画があれば、みんな集まると思っていますので、お願いしたいと思います。</p> <p>2 年間ありがとうございました。社会教育活動を、本当に受けてもらいたい方は、社会にはたくさんいると思いますが、本当に受けてもらいたい人が、公民館には行かないという現実があります。本当に受けるべき人に伝えていける何かアイデアとかそういったものを、また今後も考えていきたいと思っています。ありがとうございました。</p>
(6) その他	
<p>藤瀬議長</p> <p>中央 浅間館長</p>	<p>議題・報告の「(6) その他」ですが、事務局から何かありますか。</p> <p>本当に 2 年間、大変ありがとうございました。</p> <p>公民館事業というのは、地域のニーズを把握して企画立案して講座を実施する。このニーズの部分で本当に皆様から貴重なご意見、そして評価をいただきまして、公民館事業、充実した内容で実施することができました。</p> <p>本日もたいへん、いろいろなご意見をいただき、今後の事業充実への糧とすることができたと思いました。</p> <p>この 2 年間は、新型コロナウイルス感染症対策に追われた 2 年間でした。昨年度はともかく、年が明けて 2 月くらいから臨時休館もいたしました。そして、</p>

	<p>コロナ禍での事業実施について、この会議でいただいたご意見を基にさまざまな判断をさせていただきました。</p> <p>私どもは、引き続きこの対策を取りながら、市民がつながれるよう工夫をしながら、さまざまな形で学びを届けていきたいと思っています。</p> <p>2年間、本当にありがとうございました。</p> <p>・・・・・・・・・・終了・・・・・・・・・・</p>
--	---